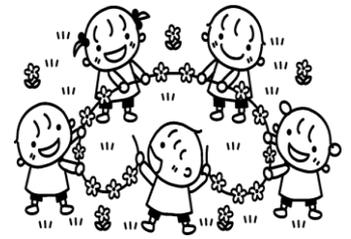




しょき

ぜんくしろだより



全釧路教職員組合・書記古川和美 2018/8/18

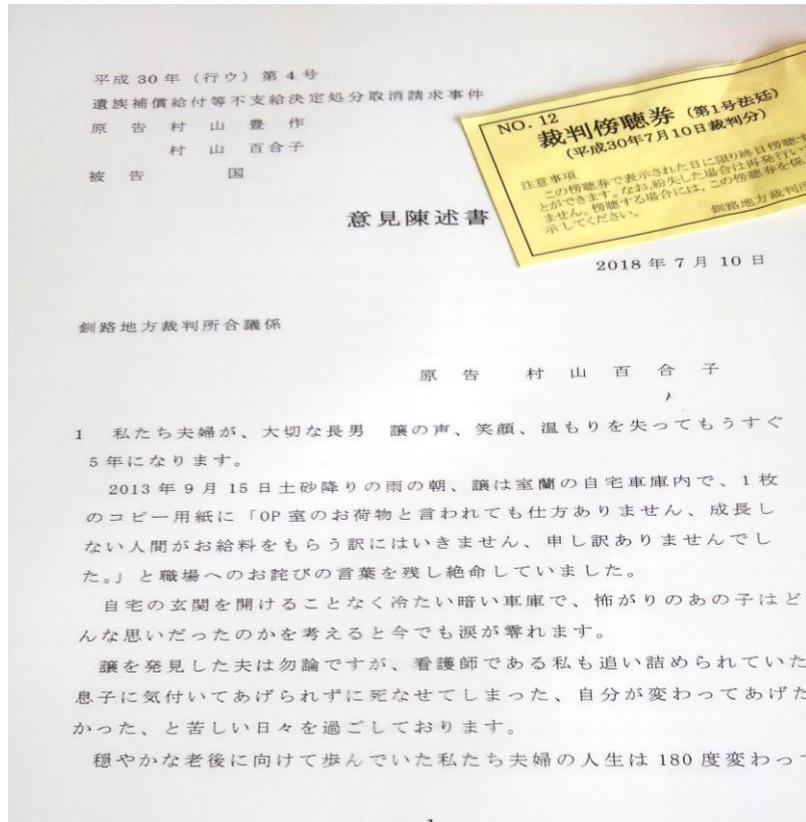
‘18年度 NO7

お父さん、お母さんは 負けない!!

看護師自死事件

釧路市の釧路赤十字病院に勤めていた看護師、村山譲さん（当時 36 歳）が 2013 年に自殺したのは職場でのパワーハラスメントが原因だったとして、両親が国に労災認定を求めた訴訟の初弁論が 10 日、釧路地裁（鈴木紀子裁判長）であった。国は棄却を求めた。訴状によると、村山さんは 2013 年 4 月、同病院に就職。仕事上のミスを理由に、新人看護師向けのカリキュラムに沿った仕事を与えられなかったほか、医師らから暴言を受けてうつ病となった。その後、同年 9 月に室蘭市の実家で自殺した。遺族は 15 年に釧路労働基準監督署に労災を申請したが認められず、17 年の再審査請求も棄却されている。村山さんの母親は意見陳述で「労基署の調査官からは『いじめもパワハラもなかった』と伝えられたが、もっとよく調べてほしい」と訴えた。

—毎日新聞7月11日付—

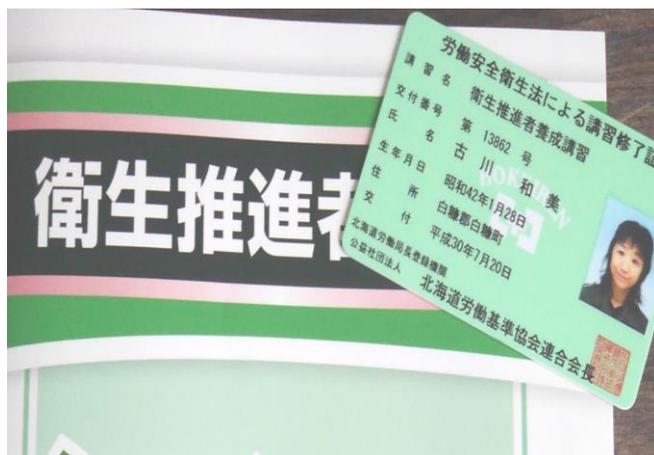


この裁判は釧路労連（釧路労働組合総連合）も全面的に支援しており、全釧路書記・高教組書記も裁判の傍聴に行ってきました。平日でしたが 20 人以上が集まりました。パワハラは労災です。国はそのことを認め、損害賠償をして欲しい。お父さんお母さんは「息子は、パワハラを受けたことにより、精神を病み、自死に至ってしまったことは遺書をみただけ

でもはっきりしている。息子の名誉のために、労災認定をして欲しい！私たちは負けない」と力強く語っていました。その姿に涙する人が多数おりました。次回公判は 9 月 18 日(火曜日)です。支援をする意味で傍聴に行ける方はお願いします。たくさん傍聴していただいた方が関心の高さをアピールできますのでよろしくおねがいします。

衛生推進者になってきました。

7月19日、北海道労働基準協会による衛生推進者講習を受け、全釧路からは鈴木（健）・中川（由）・古川（和）の3人が衛生推進者になりました!! 看護師の自死事件でもわかるようにパワハラは労災です。それがなかなか認められないのは確実な証拠がないといわれています。衛生推進者が各職場に1人いると、職員の健康面のチェックや環境を整えることが出来、管理職にも立場でものが



言えるのです。そのために3人は学んできました。職場環境のチェックや、勤務時間、ストレスチェック、メンタルヘルスケアなど、労災を防ぐためには衛生推進者の役割はとても重要なのだと感じました。衛生推進者として専任の仕事ができればいいのだけど…制度を整えて欲しいと強く感じています。現段階では衛生推進者が中心になって仕事を割り振りながら勧めているところが多いようです。衛生推進者がもっと増えればいいなあ..TKプロ（長時間過密労働解消プロジェクト）にも大きな役割を果たすこと間違いなしです。みなさん、各職場の情報等お寄せください。

1360羽の鶴が頑張ってくれました。



とても暑くてうだっていた8月初旬、目の覚めるような嬉しいお便りが届きました。“私、この度、皆様の励ましの熱い鶴たちの力で無事、抗がん剤治療を終了することが出来ました。組合員の皆様、委員長はじめ書記さんには多くのご苦労をおかけしました。そしてやさしい心遣いに本当に感謝いたします。” そうなんです。昨年12月に全釧路組合員総出で折ったM先生への1360羽のお見舞いの鶴が効力を発揮してくれたのです。願いが叶いました。嬉しい!!現在は通院しながら再発しないように療養中だそうです。“少し元気になりましたら、また皆様とともに平和に向けて頑張りたいと思います”ご協力くださった皆様、ありがとうございました。

えがお署名は733筆!!

こちらも頑張りました。

8月6日に最終的に道教組におくりましたが目標500筆に対して233筆も超えた署名が集まりました。皆さんの熱い思い、願いが叶いますように…。ゆきとどいた教育を求める全国署名を引き続き集めています。目標は1500筆!!がんばってがんばって頑張れぬきましょう!!国の責任で教育の無償化を実現したい!!戦争のための軍事予算

5兆円強を削れば、幼稚園(保育園)から大学卒業までの無償化が充分可能です。(4兆円あればできる)どの子も等しく教育が受けられますように…平和に向けての思いと共に国に、道に届けましょう!!

